

水産海洋地域研究集会

第 25 回「熊野灘の漁業を考える」
「地球温暖化の影響－熊野灘周辺海域における検証－」

共 催：一般社団法人水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，三重県水産研究所，南伊勢町

日 時：2016 年 2 月 20 日（土）13:00～17:00

場 所：南伊勢町役場南勢庁舎 3 階会議室（三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦 3057）

コンビナー：伊藤宣毅（考える会），山川 卓（東大院農），山田浩且，久野正博（三重水研）

総合司会：水野知己（三重水研）

挨拶：和田時夫（水産海洋学会長），小山 巧（南伊勢町長），伊藤宣毅（考える会代表）

13：00～13：20

趣旨説明：遠藤晃平（三重水研）

13：20～13：30

【基調講演】

「三重県における地球温暖化の現状と将来予測」

13：30～14：10

日当智明（津地方気象台長）

【話題提供 ～今、熊野灘沿岸で何が起きているのか？－地球温暖化の影響を検証する－】

座長 山田浩且（三重水研），水口忠久（考える会）

「海況の変化」

久野正博（三重水研）

14：10～14：35

「藻場の変化」

倉島 彰（三重大院生資）

14：35～15：00

（休憩）

15：00～15：15

「磯根資源の変化」

山川 卓（東大院農）

15：15～15：40

「魚類資源の変化」

岡田 誠（三重水研）

15：40～16：05

総合討論

座長 山川 卓（東大院農），山田浩且（三重水研）

16：05～17：00

現場漁業者等の声（漁業者ら 2 名程度）

開催趣旨：IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第 5 次評価報告書によれば，今世紀末までに世界の平均気温は最大で 4.8℃，海面水位は 82cm 上昇すると予測されている．今後，想定される気候変動の影響、特に農林水産分野への影響に対して的確かつ効果的に対応するため，農林水産省では 2015 年 8 月に「農林水産省気候変動適応計画」を策定した．この中で，科学的な将来影響評価や適応技術など，生産者（漁業者）等が適応策に取り組む際の判断材料を提供することにより，将来直面すると予測される影響に事前に地域が主体となって取り組むことが重要であると指摘している．こうした取り組みを推進するには，まず，沿岸生態系の現況や変化を把握することが不可欠である．本シンポジウムでは，熊野灘沿岸域の海洋環境や水産生物にみられる種々の変化を整理し，漁業者，行政担当者，研究者等の関係者間で情報共有を図るとともに，今後予測される熊野灘漁業への影響とその対応策の方向性を探る．